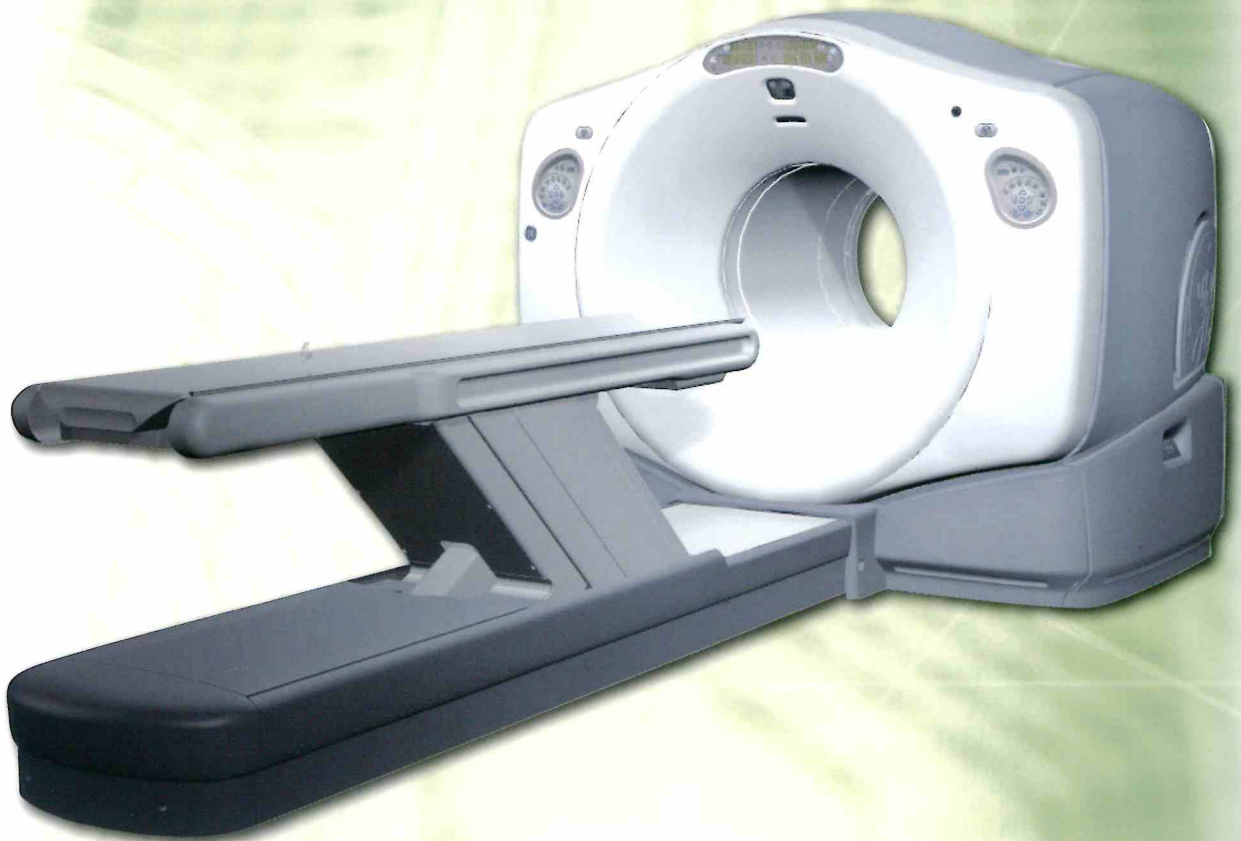


# PET/CT検診

ご案内



独立行政法人  
地域医療機能推進機構

徳山中央病院  
健康管理センター

# がんは、早期発見、早期治療が大切。

山口県では、平成23年度に34%の方ががんで亡くなりました。全国平均の28%を大きく上回っていると同時に、平成22年度から、急速に増加しています。

がんの早期発見は、これらの負担を軽減すると共に、治療率も向上します。

がんの治療には、精神的にも金銭的にも本人のみならず家族にも大きな負担になります。

## がんの早期発見にPET/CTが有効

正常細胞

少しの  
ブドウ糖で満腹

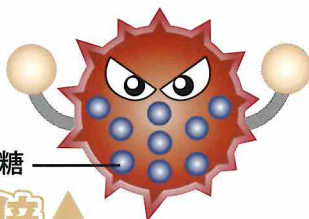


ブドウ糖

3~8倍↑

がん細胞

「腹、減ったゾ~!!」



がん細胞は正常の細胞にくらべて、活発な増殖を繰り返すため3~8倍のエネルギー(糖代謝)を必要とします。

この特性を利用してPET検査では、FDGというブドウ糖の一種を注射し、がん細胞にFDGが集まる様子を画像化して、がん細胞の有無・場所・大きさを特定します。

しかし、PETでは、場所を正確に特定する事が困難な場合があります。そのため、体の内部構造を正確に描出することのできるCTの画像をPET画像と重ね合わせるPET/CTががんの早期発見に有効です。

当院ではGEヘルスケア・ジャパン(株)製のDiscovery ST Elite 16を導入しています。

## PET/CTの優れた能力と限界

能力

1度の検査で全身を撮影できるので、一般的な検診で診ることのない部位や、頸部や縦隔などの見つけにくいがんを発見する可能性が高くなります。

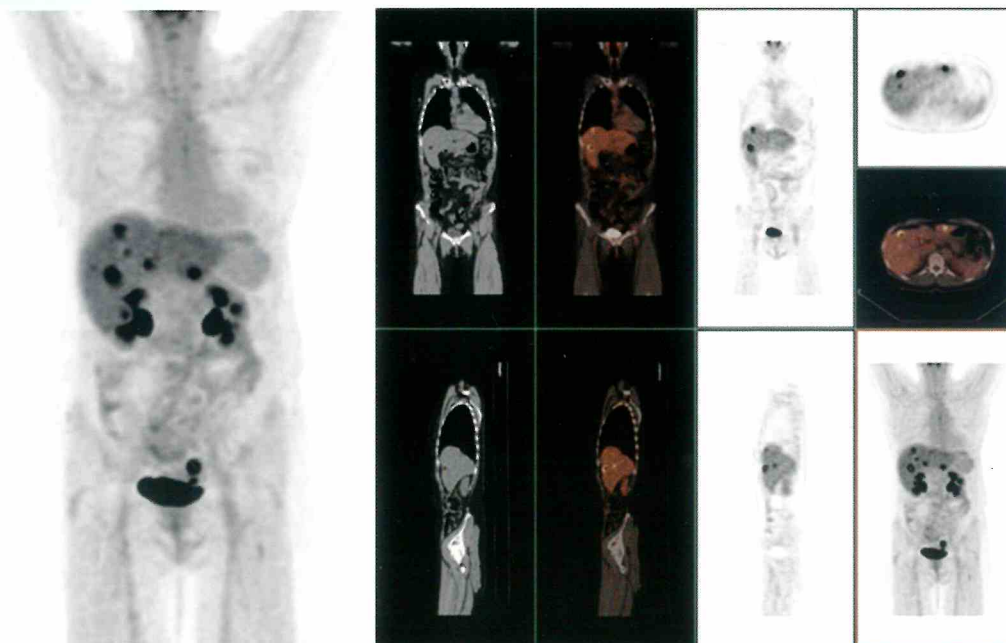
痛みも苦痛も少ない検査です。

限界

がんの種類、大きさ、性質などによっては、検出できないこともあります。

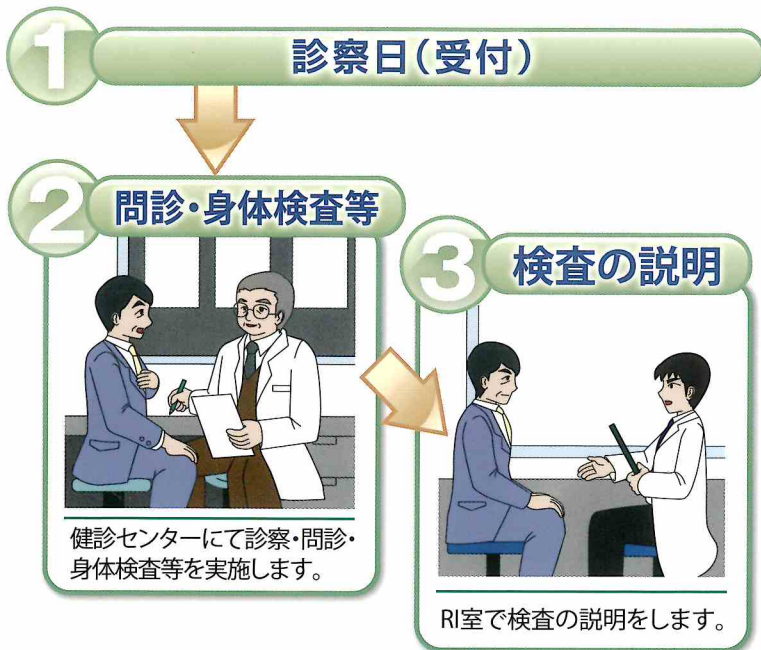
胃がん・大腸がんなどは、内視鏡など、より早期に発見する方法が確立しています。

FDGは尿中に排泄される為、尿路系の腎臓、尿管、膀胱、前立腺などの臓器は早期のがん発見には有効ではありません。





## 検診の流れ



## PET/CT検診コースの紹介

全身PET検査とマルチスライスCTをセットにしました。がんと肺を重点的にチェックしたい方、喫煙者にお勧めです。

### ● 検査内容

健康調査	既往歴・自覚症状・他覚症状
医師の診察	一般診察・問診・(胸部聴診・腹部触診)
身体計測	身長・体重・肥満度・BMI
画像診断検査	PET/CT装置
循環器系検査	血圧測定

● 費用 100,000円

## PET検診の安全性

PET検査はポジトロン(陽電子)を使うことで、わずかですが放射線被ばくがあります。被ばく量は問題となる程ではなく、放射線障害が起きる可能性はほとんどありません。

## 異常が発見された場合の体制

PET検診によりがんが疑われた場合は、病院において速やかに詳細な検査を実施し、専門医師が最先端の医療機器を用い、的確な治療を開始します。また、より専門性の高い病院への紹介も可能です。

## 注意事項

●PET検診はFDGの代謝を正しく診断するため、検査前4~5時間は絶食をお願いします。

●糖尿病のある方は、血糖値を正常にしておくことが大切です。糖分を含まない飲料水は自由に摂取してもかまいませんが、ジュースなど甘い飲み物は避けて下さい。

※なお、この検査は妊娠中・授乳中の方には原則として行うことができません。